

内面修理手順

プラグパッチ

- プラグパッチ ▶P8
- カーバイトカッター ▶P16
- スーパーバルカンG ▶P10
- シーライナー ▶P10
- リキッドバッファー エコ ▶P11



1 タイヤに刺さっている異物を取り除きます。



2 タイヤ外面からカーバイトカッターをセットしたエアーツールでキズ穴を調整します。※この作業を2回繰り返します。



3 タイヤの内側からも同じようにキズ穴調整します。※この作業も2回繰り返します。



4 プラグパッチのパッチ部の中心がキズ穴にくるようにセットし、パッチより少し大きめにクレヨンで縁取ります。



5 縁取った内側にリキッドバッファーエコをたっぷり吹きかけます。



6 スクレーパーを使い、汚れをかき落とします。



7 タングステンスプをエアーツールにセットし、縁取った内側をバフ掛けします。※削りすぎないように十分注意してください。パッチが接着しない原因となります。



8 削り取ったバフ粉(削り粕)はエアークリーンなどを使いキレイに取り除きます。



9 キズ穴にスーパーバルカンGを塗ります。



10 バフ掛けした面にスーパーバルカンGを薄く均等に塗り、十分に乾燥させます。



11 プラグパッチの軸部分にスーパーバルカンGを少量塗ります。※パッチ部には塗らないでください。



12 プラグパッチ先端の金具をタイヤ内側から外側に向け差し込みます。



13 タイヤの外側からプライヤーを使い引き出します。この時タイヤの内側にパッチ部が密着するようにしっかりと引っ張ってください。



14 パッチ部をローラーなどで圧着します。※パッチ中央部から外側に向け空気を抜くイメージで圧着してください。



15 タイヤ外側に出ているプラグパッチを2~3mm程度残し切り取ります。



16 オーバーバフ部をシーライナーで補修します。これで作業は終了です。